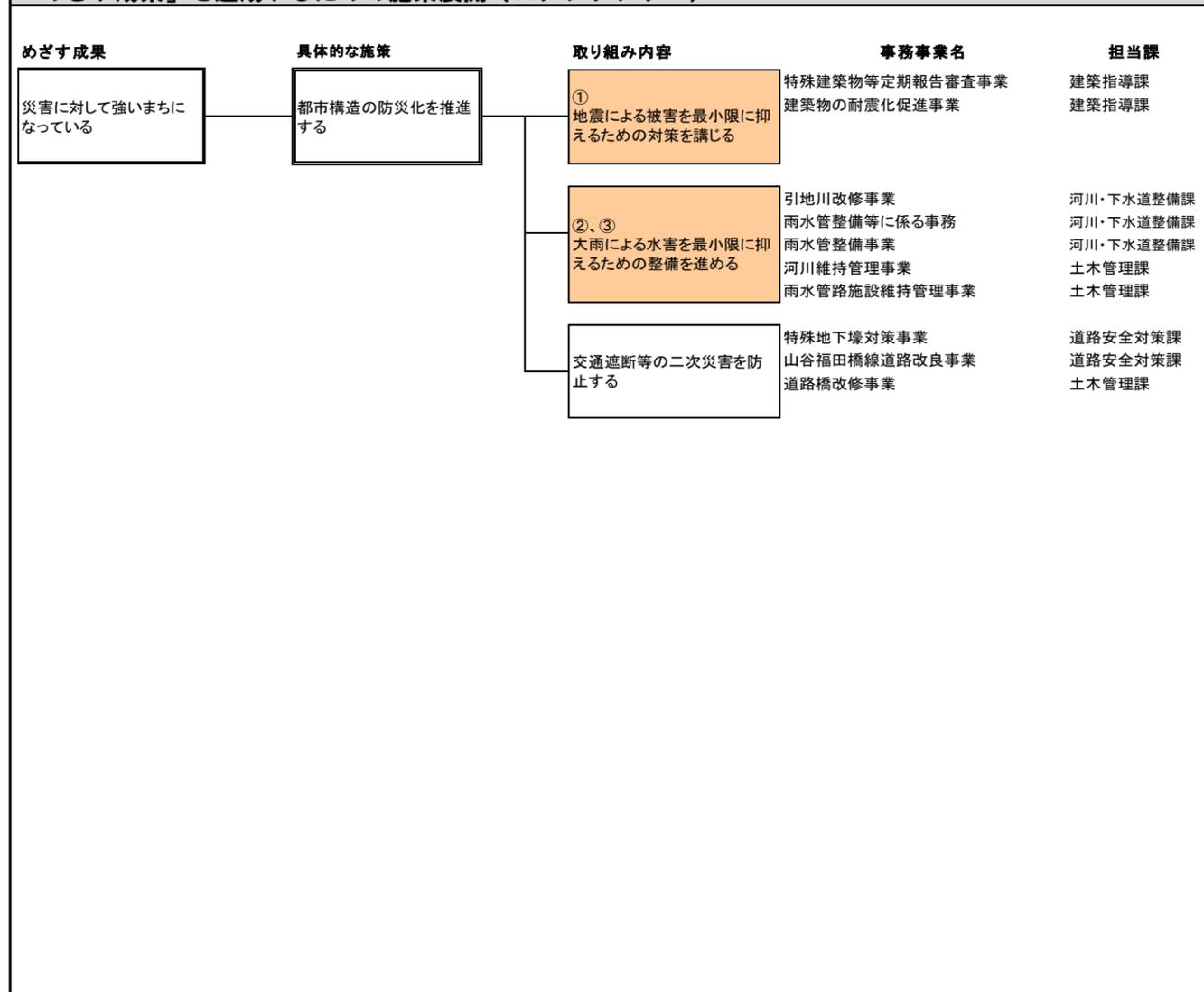


## 「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

### 3-2-2 災害に対して強いまちになっている

|        |           |  |
|--------|-----------|--|
| 総合計画体系 | 健康領域・基本目標 | まちの健康・安全と安心が感じられるまち  |
|        | 個別目標      | 災害への対応力を高める  |
|        | めざす成果     | 災害に対して強いまちになっている<br>地震や大雨が発生しても、大きな被害につながらないような施設整備などの対策が講じられています。 |

### 「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



| 総合計画掲載指標①         |       | 総合計画掲載指標②      |       | 総合計画掲載指標③      |       |
|-------------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|
| 防災上重要な公共建築物の耐震改修率 |       | 準用河川引地川の改修率    |       | 雨水整備率          |       |
| 計画策定時<br>現状値      | 92.0% | 計画策定時<br>現状値   | 57.0% | 計画策定時<br>現状値   | 66.5% |
| 実績値<br>(H22)      | 96.0% | 実績値<br>(H22)   | 65.6% | 実績値<br>(H22)   | 67.7% |
| 中間目標値<br>(H23)    | 94.3% | 中間目標値<br>(H23) | 66.4% | 中間目標値<br>(H23) | 68.0% |
| 目標値<br>(H25)      | 96.0% | 目標値<br>(H25)   | 68.0% | 目標値<br>(H25)   | 69.0% |

## 「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

|          |   |
|----------|---|
| 主な取り組み内容 | <p><b>【都市構造の防災化を推進する】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料簡易診断、精密耐震診断助成、耐震改修工事助成、家具転倒防止器具取付支援の4事業を実施しました。</li> <li>・大和市耐震化促進協議会との連携強化により、簡易診断と精密診断を一連で行ったことから、診断については目標の120件を超える144件を実施することができました。</li> <li>・耐震改修工事の実施は24件でしたが、年々、耐震改修を実施する方が増えてきており、耐震に関する意識が市民に浸透してきていると思われます。</li> <li>・集中豪雨に伴う道路冠水等、被害頻度の高い区域の雨水管整備を進めるとともに、準用河川引地川の一次改修工事を進め氾濫防止を図りました。</li> <li>・鉄道や緊急輸送路に架かる橋を優先して耐震補強工事を行い、災害時の安全確保を図りました。</li> </ul> |
|----------|---|

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化の導入部分となる耐震診断件数を増やすことが不可欠と考えます。このため、従来からの様々な媒体を活用した広報活動に加え、防災訓練などの機会を活用した自治会単位の耐震化説明会を実施しています。また、申し込み方法の簡素化などの効果も大きく、耐震診断件数が増加していることから、当分の間、このような方法を継続して実施することが有効と考えます。</li> <li>・水害が発生する頻度の高い場所を効果的な手法により雨水管を整備し、雨水の速やかな排除を図ります。また、準用河川引地川は、氾濫防止を図るため、河川改修を効率的に行ってまいります。</li> <li>・道路橋について、地震時の列車への被害軽減と交通遮断などの二次災害の防止を図るため、鉄道や緊急輸送路に架かる橋を優先して耐震補強工事を行います。</li> </ul> |
|-------------------------|--|

| 今後の展開方針  |   | 注）例年ごとの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。 |
|----------|---|---|
| 新規事業の立案  |   | （該当する事務事業）                                |
| 既存事業の拡充  |   | （該当する事務事業）                                |
| 事業の廃止・縮減 |   | （該当する事務事業）                                |
| 事業の効率化   |   | （該当する事務事業）                                |
| その他見直し   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練などの機会を活用した自治会単位の耐震化説明会の効果が大きいことから、地域住民が集まる機会、イベントなどを積極的に活用して周知に努めます。</li> </ul> | （該当する事務事業）<br>耐震化促進事業                     |

| 施策への提言     |   |
|------------|---|
| 総合計画審議会記入欄 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に対して強いまちになるためには、耐震改修件数を増やし、地震対策が施された建物を増やす必要があります。これまでも、様々な媒体を活用して耐震化説明会等を実施されていますが、地域住民が集まる機会やイベントなども活用し、引き続き周知徹底を図り、耐震改修につなげていくことが必要と考えます。</li> <li>・昨今のゲリラ豪雨対策として、下水道に負荷を与えないようにするため、総合的な雨水対策を検討する必要があると考えます。</li> </ul> |